

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	歴史特論Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	04209	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報工学科	対象学年	4		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	なし / 2年、3年の歴史Ⅰ、Ⅱで用いた教科書、タペストリーを参照することが望ましい				
担当教員	京極 俊明				
到達目標					
(ア)19世紀から20世紀初頭のヨーロッパの歴史について理解できる。 (イ)産業革命と工業化による社会の変化について理解できる。 (ウ)帝国主義が世界に及ぼした影響について理解できる。 (エ)第一次世界大戦と総力戦について理解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目(A)	19世紀から20世紀初頭のヨーロッパの歴史について理解し、説明できる。	19世紀から20世紀初頭のヨーロッパの歴史について理解できる。	19世紀から20世紀初頭のヨーロッパの歴史について理解できない。		
評価項目(B)	産業革命と工業化、ならびに帝国主義による社会の変化について理解し、説明できる。	産業革命と工業化、ならびに帝国主義による社会の変化について理解できる。	産業革命と工業化、ならびに帝国主義による社会の変化について理解できない。		
評価項目(C)	第一次世界大戦と総力戦について理解し、説明できる。	第一次世界大戦と総力戦について理解できる。	第一次世界大戦と総力戦について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 C2, JABEE a, JABEE b, 本校教育目標 ⑤					
教育方法等					
概要	フランス革命と産業革命を経て、19世紀に欧米の社会は大きく変化した。工業化・都市化・義務教育など、現代社会の基礎が成立したのが、まさにこの時代である。また圧倒的な経済力・軍力をもって、列強はアジア・アフリカを植民地化した。現在アジア・アフリカ諸国は独立を果たしたものの、植民地支配の影響は、いまだに残っている。本講義では、現代社会と世界情勢についての理解を深めるために、ドイツを中心として19世紀から20世紀初頭までのヨーロッパの歴史について講義する。				
授業の進め方と授業内容・方法					
注意点	内容理解のため、予習、復習を欠かさないこと				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
後期	1週	オリエンテーション 「ドイツ」とは何か?	現代ドイツ事情と「ドイツ」という概念の定義の難しさについて理解できる。		
	2週	プロイセン王国	プロイセン王国の歴史について理解できる。		
	3週	ビスマルクによるドイツ統一	ビスマルクによるドイツ統一について理解できる。		
	4週	ドイツ帝国の統治構造	ドイツ帝国の統治構造について理解できる。		
	5週	ビスマルク時代	ビスマルク時代の内政、外交、社会について理解できる。		
	6週	ビスマルク時代	ビスマルク時代の内政、外交、社会について理解できる。		
	7週	ヴィルヘルム2世の即位と新航路政策	ヴィルヘルム2世時代の内政、外交、社会について理解できる。		
	8週	ヴィルヘルム2世の即位と新航路政策	ヴィルヘルム2世時代の内政、外交、社会について理解できる。		
	9週	ドイツ帝国の社会と文化	ドイツ帝国の社会構造の変化と文化について理解できる。		
	10週	ドイツ帝国の社会と文化	ドイツ帝国の社会構造の変化と文化について理解できる。		
	11週	ドイツの拡張政策と海外植民地	ドイツの拡張政策と海外植民地について理解できる。		
	12週	ドイツの拡張政策と海外植民地	ドイツの拡張政策と海外植民地について理解できる。		
	13週	第一次世界大戦の勃発	第一次世界大戦勃発にいたる経緯と序盤戦について理解できる。		
	14週	総力戦体制の構築	総力戦体制の登場について理解できる。		
	15週	ドイツの敗北と第一次世界大戦の終結	ドイツの敗北と第一次世界大戦の終結について理解できる。		
	16週				
評価割合					
	定期試験	課題	合計		
総合評価割合	70	30	100		
基礎的能力	70	30	100		